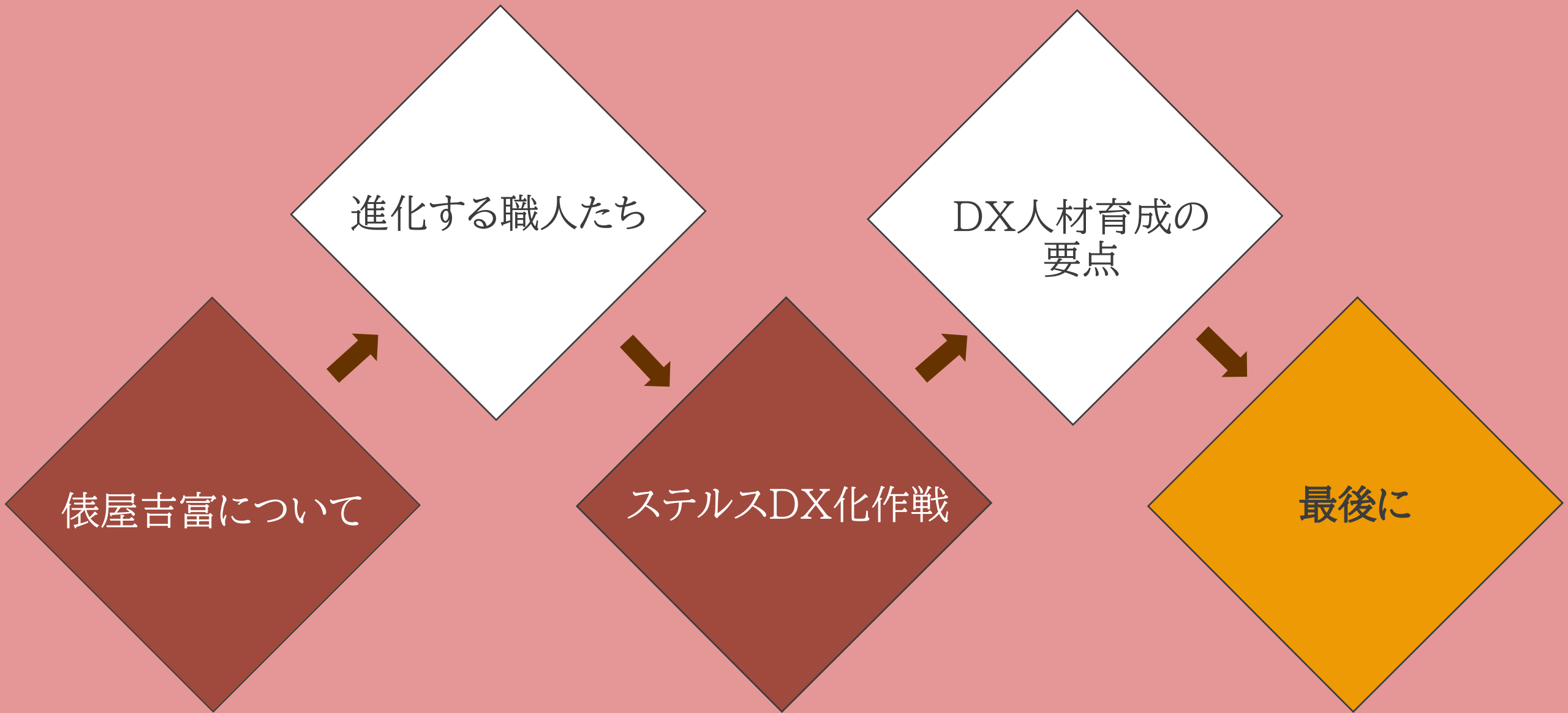


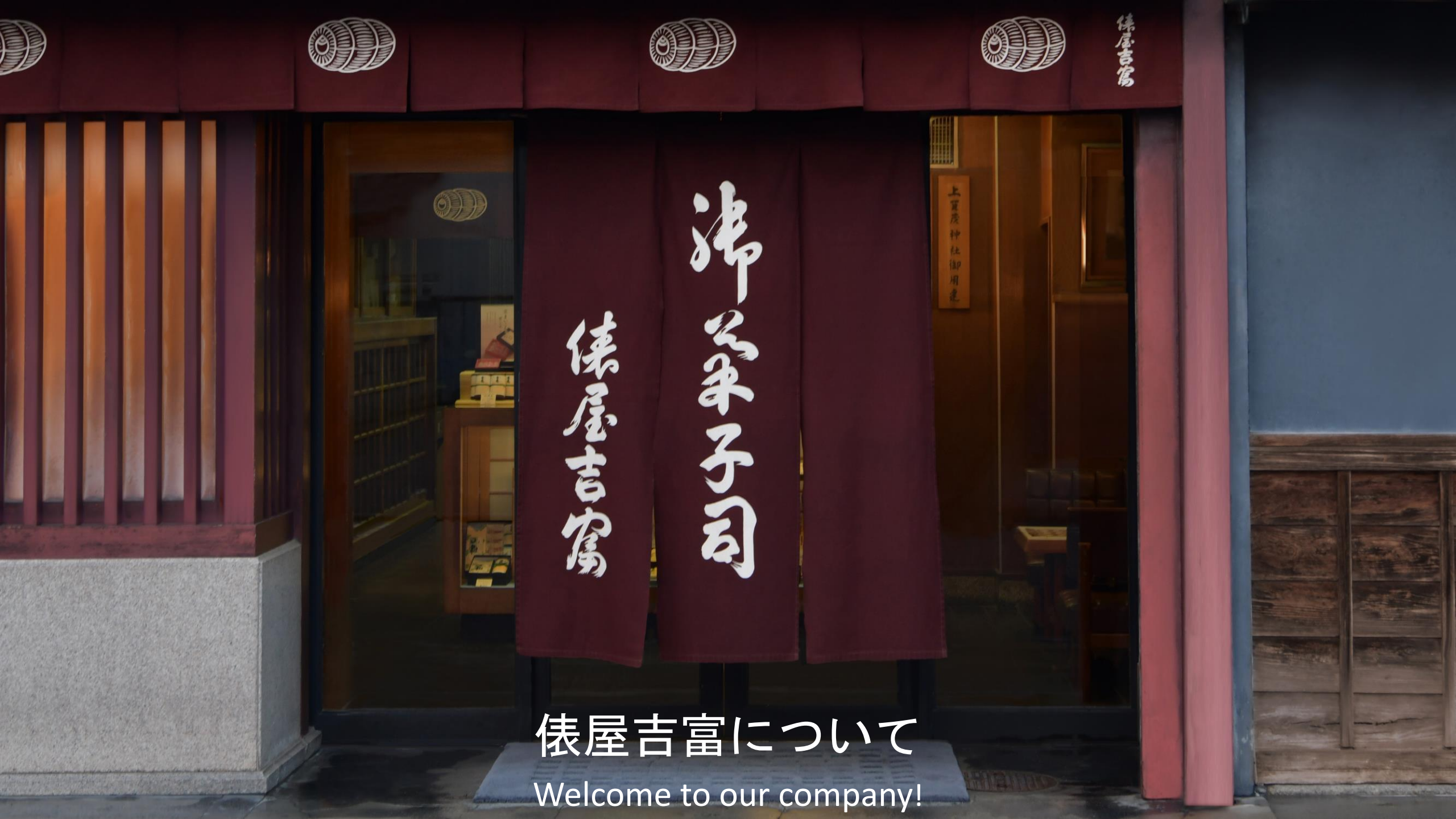


株式会社 俵屋吉富
進化する職人たち
～元農民によるステルスDX化作戦～



本日の流れ





俵屋吉富について
Welcome to our company!



株式会社 俵屋吉富

- 創業 : 宝暦5年(1755年)
- 設立 : 昭和28年9月1日
- 資本金 : 2,400万円
- 従業員 : 90名(パート・アルバイト含む)
- 事業内容 : 和菓子製造販売業 (主要銘菓「雲龍」)
- 売上高 : 約10億
- 販売地域 : 日本全国
- 代表者 : 代表取締役社長 石原 義清
代表取締役副社長 石原 義規
- 所在地 : 〒602-0029
京都市上京区室町通上立売上る室町頭町285番地の1





代表銘菓

雲龍

7代目石原留治郎が創り出した
俵屋吉富を代表する和菓子。

狩野洞春による雲龍図（相国寺蔵）
に魅せられ、創作された京銘菓。







進化する職人たち



直近3年でのDX化概略



- 業績管理
- 勤怠管理 ・労務管理
- 日報 ・在庫/出庫管理
- 受発注関係
- 業務評価
- 社内スケジュール ・社内コミュニケーションツール
- デジタルサイネージ ・画像共有
- HACCP



自分自身が知る
そして自分から動く





ステルスDX化作戦

STEP①



組織全体で進んでいく雰囲気を出す



といる
新ブランド日本初出店
shin brand japan first store

お好きな箱を
セットできます
1.44箱 790円
2.24箱 1,180円

お好きな箱を
セットできます
1.44箱 790円
2.24箱 1,180円

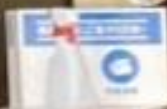
俵屋吉富



俵屋吉富

清公米子司

俵屋吉富



STEP②



簡単に触れるシステムを導入する





お知らせ



第71期 スローガン

夢を菓子に 菓子を喜びに

ここまで多くの時間をお菓子里に費やしてきました。

お菓子里は結局のところ、「見て美しい 食べて美味しい」を基本とするデザイン力です。それは京菓子里だけでなくケーキも同じです。

洋菓子里のほうがいいさか材料にチョコレートやフルーツといった幅はありますがそれにしてもそう多くはないのです。お店の味は時代と共に多少の変化は起きるのですが、一度これでいこうと決めた配合やレシピはそうそう変えることができません。その味でファンを作る覚悟をもって味を決める訳ですから。味覚が決まるとあとの創作は視覚になるわけです。ショウウィンドウに並ぶお菓子里にお客さんが魅了されるのはお菓子里のデザインなのです。私たちは夢をお菓子里のデザインに表現することにより、喜びや感動をお菓子里と共にお届けできるのです。そしてその笑顔が世界を平和にしていくのです。私たちの生業とはそのためにあるのです。

雲龍100歳を節目に私が初めに提唱した「夢を菓子に 菓子を喜びに」をスローガンにしました。伝統は一年一年一生懸命の積み重ねた足跡です。足跡が道を作り、また自らの足で前に進むのです。お菓子里を通じて喜びに・・

そして皆さんが幸せであることを願っています。

社長

■今月の予定

2月5日の連絡会議は8時30分開始に変更されました。



スペース



すべてのスペース



営業部間コミュニケーションスペース



広報関連



店舗日報



営業⇔生産コミュニケーションスペース



🔒 生産部



🔒 社内在庫管理



🔒 本社内情報共有



操作マニュアル

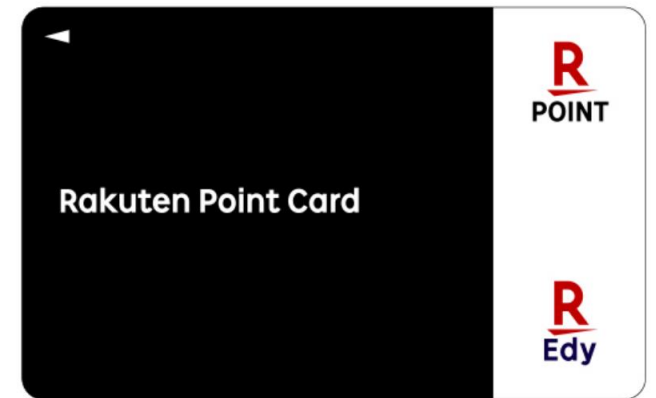
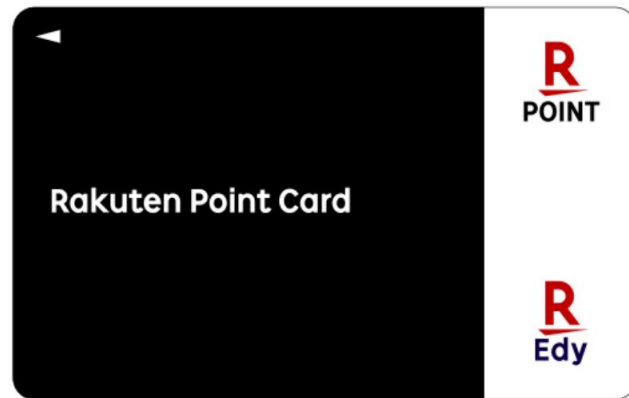


全社向け



営業⇔総務コミュニケーションスペース

さらに表示



STEP③



実務への落とし込み

キャンセル

保存

店舗日報

基本情報

作成者 *

店舗名 *

日付 *

天気 *

曜日

(自動入力)

取得

クリア

☒ 晴れ

☐ 曇り

☐ 雨

木曜日

要確認の有無 *

☐ 要確認案件有

☒ 通常

記入欄

売上 *

外商 *

その他 *

ギフト売上 *

¥

¥

0

¥

0

¥

0

来客数 *

外商件数 *

その他件数 *

ギフト件数 *

人

0

件

0

件

0

件

案件事項

その他連絡事項

[スペース: 店舗日報](#)
[アプリ: 店舗日報](#)

[illegible]

 -- 

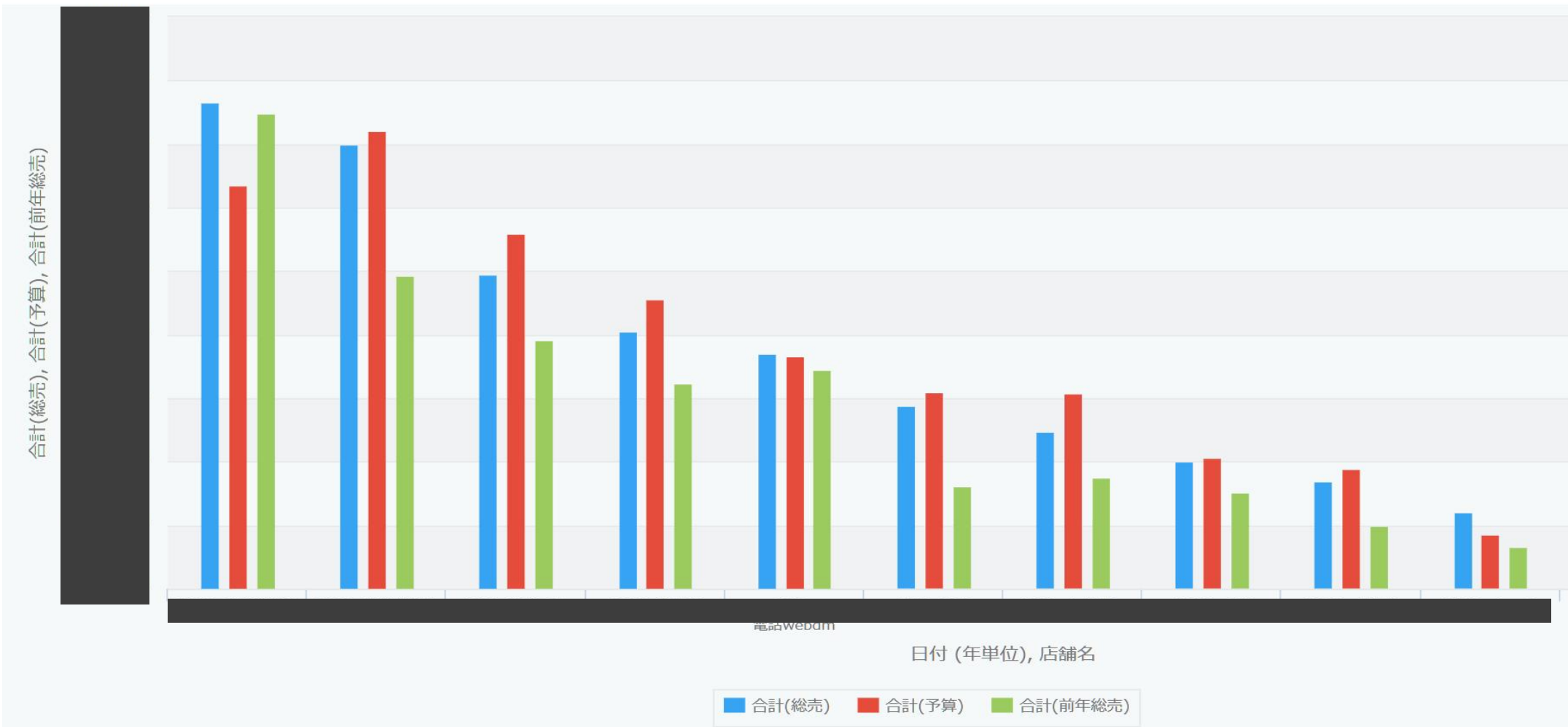
 





縦棒グラフ 

集合 



DX人材育成の
要点

point



先ず自分でやる
Do it yourself first



組織全体で進んでいく感を出す
Project oneself into the future



小さなところからコツコツと
Keep chipping away

The background of the slide is a white surface covered with numerous small, round, pill-like objects. These pills are in three colors: light blue, white, and lime green. They are scattered across the entire frame, some appearing in sharp focus while others are slightly blurred, creating a sense of depth. In the center of the slide, there is a large, orange diamond shape with a dark red border. Inside this diamond, the text '最後に' is written in white Japanese characters, and below it, the English phrase 'future prospects' is written in a white, sans-serif font.

最後に

future prospects



里桜



紫陽花金団

未来の伝統を創る為に
create the culture of the future



銀杏



下萌





ありがとうございました

Present by TAWARAYA YOSHITOMI

-To start newly-